

# 前期公開講座のご案内

## 公開講座 申込方法

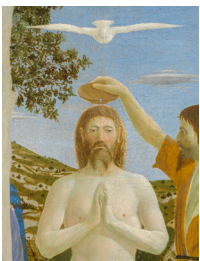
応募者殺到の場合は抽選です。

E-mail(jaa-support@jaa-iaa.or.jp)・連盟ウェブサイト  
の申込フォーム、いずれかの方法により、  
①名前(フリガナ) ②郵便番号・住所 ③電話番号  
④会員(会員番号)・非会員の別、⑤どの講座にお  
申込みか 明記して、事務局までお申込みください  
(複数応募可)。原則、お電話・FAXではお申し込  
みを受け付けません。

定員になり次第締切りますが、応募者殺到の場合  
は、抽選にて参加者を決定します。

- ・マスク着用や消毒用アルコールの携帯等といった最小限の感染対策はご自身でご用意ください。
- ・会場は窓を開けて換気しますので、服装にご注意ください。
- ・感染の状況が著しく酷くなった場合は、開催1週間前までに中止のご連絡を差し上げます。(当日中止はありません)
- ・各講座とも定員を少人数での開催としましたが、申込状況によっては多少増える場合もあります。

1~2月の感染拡大によって中止になった講座を中心に企画を立て直しました。ぜひご参加下さい。  
本紙10月号では後期開催の新しい講座を募集する予定です。  
なおコロナ禍での開催になりますので、引き続き、左記の点、何卒ご理解ください。



### 講義 諧調の重層的描画法 佐藤 一郎

2022年8月27日(土) 10:00▶16:00 (場所:美術家連盟画廊)

定員 15名 参加費:会員 500円・一般 1,000円

西洋画においては、諧調(グラデーション)は、絵画制作の根幹をなす。陰影表現を基盤に、空間にある物自体の立体感、存在感ともに、色調の滑らかな移行をねらう。「見ること」がどのように「描くこと」に置き換えられるのか。そして、塗りを重ねて、色調の移行をねらう実地の方法を解説する。

左イメージ:ピエロ・デラ・フランチェスカ《キリストの洗礼》(部分)、1450年頃、ロンドン、ナショナル・ギャラリー



### 講義 箔 (定着と表現一技法例) 遠藤 典男・滝沢 具幸

2022年8月30日(火) 13:00▶17:00 (場所:美術家連盟画廊)

定員 15名 参加費:会員 500円・一般 1,000円

古来より絵画・工芸などに使われ、人々を魅了しつつつけてきた金銀箔。種類も表現方法も増えた今日においても、表現材料としての箔は他のものに代えがたい特別な効果をもたらしますが、性質や扱い方等を知らないと、思ったような結果は得られません。今回は表現技法として活用できるよう、箔の基本として、素材(金・銀・プラチナ等)の違いやミクロン単位の薄さの箔をどう扱い、どのように定着させるのか、等を学びます。

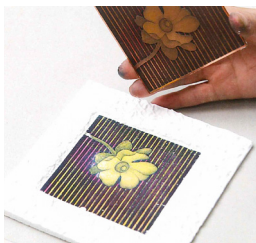


### 講義・実習 小さな石から天然顔料を作る 橋本 弘安

2022年10月1日(土) 13:30▶16:30 (場所:美術家連盟画廊)

定員 8名 参加費:会員 3,000円・一般 5,500円

天然顔料(岩絵具)について「粒子・粉体」などの観点から顔料の根源と最先端技術による天然顔料の美術・工芸、全体に広がる展開、意味について考え学びます。また、女子美術大学と協力者により開発した「小さな石から 天然岩絵具作成キット」を使い実習し、オリジナルな天然顔料(岩絵具)が活かせるようになります。



### 実習 石膏刷り 渡辺 達正

2022年10月28日(金) 10:00▶17:00 (場所:美術家連盟画廊)

定員 8名 参加費:会員 5,500円・一般 9,000円

「石膏刷り」は石膏の吸着力を利用して、銅版のインクを転写するので、プレス機が無くても凹版画を刷る事ができます。おそらくこの刷り方が銅版に刻まれた線の実際をもっとも良く現していると言えるでしょう。本講座は私が考案して発売されているキットを使い、ハガキ大ほどの作品を制作します。



### 実習 蜜蝋画制作会 小林 裕児

2022年11月22日(火) 11:00▶16:00 (場所:美術家連盟画廊)

定員 8名 参加費:会員 10,000円・一般 15,000円

蜜蝋画とは、古代エジプトまで遡る大変古い絵画技術です。蜜蝋の60℃という低い融点を生かし、顔料を溶かした溶媒が冷え固まる短時間の中で制作します。本講座ではどこの家庭でもある身近なホットプレートと手芸用の電気鏝を使い作品制作を試みます。

\*本紙10月号では、新しい「後期公開講座」をご案内する予定です。